



北栄パイピングが経営デザイン認証に選定

経営品質で
キラリ光る企業に



公益財団法人日本生産性本部・経営品質協議会が企業の生産性向上プログラムの一環として実施する「経営デザイン認証」制度で、石川県内から2022年度、建設業の北栄パイピング(本社金沢市)が栄えるスタートアップ認証組織に選定されました。その意義や今後のビジョンについて、徳永健一社長に聞きました。

新規開拓の牽引役は「サービス・パック」

——経営デザイン認証に応募した目的は。

空調や給排水、プラント設備工事を手がけてきましたが、新分野や新事業を開拓していく上で、自社の強みや弱み、変革課題ややりたい姿を「見える化」し、全社一丸で取り組んでいく必要性を痛感したからです。応募にあたり作成した「これからの経営設計図」に基づき、今後、生産性向上や働きやすい環境づくり、社員の自己成長など、順次、具現化していくことで、労使双方に利益が生まれ、顧客満足や地域貢献にもつながるものと期待しています。

——申請までの準備はいかがでしたか。
従業員15名規模の企業が選定されるのは、おそらく初めてではないかと思っています。小回りが利く一方、一人ひとりが最高のパフォーマンスを発揮する必要があることから、5年前からコンサルタントを入れた研修を定期的に実施し、意識の向上やスキルアップに取り組みました。並行して会社のポリシーや経営理念、経営ビジョンを整備し、改革に向けて社員のベクトルを合わせることに力を入れました。

——今後、目指すビジネスモデルは何かですか。
新事業のモデルとして、「快適・安心・長持ち・世話要らずのサービス」の商

品化”を掲げています。これは、従来、顧客からの依頼に応じてスポット的な修理や新設工事を行ってきたのに対して、日常保守的・予防保全的な機能を有する定額制の「サービス・パック」という形で提供するものです。これにより、顧客との接点が増え、さまざまな問題の共有も図ることができ、安定稼働や故障リスクの低減、管理コスト削減のお手伝いができると思っています。

提案型の人材育成へ資格取得を推進

——主な顧客である製造業以外にもビジネスの可能性が広がりそうですね。
例えば、小売りや流通、サービス業、福祉などの各施設でも、空調環境や衛生環境の快適性や安心感を求める高いニーズがあります。これまで設備工事業で培った豊富な実績とノウハウに、「施設・環境メンテナンス業」をプラスしていくことで、付加価値の高いサービスの提供が可能になると確信しています。

——少数精鋭の企業風土に磨きをかけることもますます大切になります。

当社の自信は、管、建築、土木、電気の4つの領域の建設業許可を持ち、トータルにワンストップで対応できる強みと現場作業チーム力の高さです。今後は顧客の指示を待つだけでなく、顧客に対して積極的に提案できる「共創型」の行動が求められるでしょう。現在、業務に関連する国家資格などの保有数は1人あたり最低でも6つを数え、北陸3県の設備業ではトップクラスにあり、さらに取得支援を推進していきたいと思っています。

——経営デザイン認証への今後の取り組みは。

今回のスタートアップ認証に続いて、25年までには「ありたい姿」の達成に向けて具体的に実践する企業の証である「ランクアップ認証」を目指し、将来的には「日本経営品質賞」の狙える会社へ成長したいとの夢を描いています。



Hp 北栄パイピング株式会社
〒920-0356 金沢市専光寺町せ20番地2
TEL . 076(268)6317 FAX . 076(268)7784
一緒に夢をかなえる仲間募集中!
<https://www.hp-hokuei.co.jp>

